

地域全体で 子どもたちを育てよう

●西大路地区と東桜谷地区で11月に行われた「通学合宿」の様子をお伝えします。

西大路

11月14日(月)～16日(水)の2泊3日、西大路小学校6年生8人が音羽会議所を合宿場所として実施されました。

有志による「西大路通学合宿実行委員会」(島田佳己生委員長)の皆さんが主体となり、元気な西大路づくりのきっかけにしたいと、音羽自治会(山田正三区長)の大きな協力を得て、少人数で深い関わりの持てる地域密着型の通学合宿に取り組みられました。

9月から会議を始め、大人に頼らない生活を送ることを中心にしたプログラムにしようと、班分けや献立、合宿のプログラムなどは、事前に子どもたちと話し合っ



▲子どもたち自身で手洗いの洗濯もしました

て決定されました。子どもたちは、学校から音羽会議所に帰り、宿題や夕食準備を行いました。お風呂は近所の4軒で「もらい湯」に入り、「夜のつどい」には、地域スタッフの皆さんと百人一首を楽しみました。掃除やご飯づくりなど、合宿の中で、見守る地域スタッフの協力を得ながら、子どもたちは自主的に取り組んでいきました。

通学合宿とは…

子どもたちが地域の自治会館や公民館などで、一定期間寝泊まりしながら学校に通う取り組みです。

食事や洗濯など、自分たちの身の回りの日常生活に関わることは、子どもたち自らが行います。

この活動を地域の青年や大人が支えることは、子どもを中心に据えた地域づくりの、よいきっかけにもなります。



▲スタッフの方が見守る中、食事づくり



▲夜は地域スタッフの皆さんと一緒に百人一首を楽しみました

東桜谷

11月17日(木)～19日(土)の2泊3日、桜谷小学校5年生7人、6年生14人が東桜谷公民館を合宿場所として行われました。

公民館や地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、健康推進員、安全なまちづくり協議会、区長会、老人クラブ、スポーツ推進委員など、地域の幅広い組織や団体、ボランティアの皆さんで構成された「東桜谷地区通学合宿実行委員会」(長束晶委員長)の皆さんが主体となり、地域全体が一体となって子どもたちに関わる通学合宿に取り組みられました。安全担当や生活指導・保健担当など、実行委員会が組織化され、9回の会議を経て合宿の計画を立てられました。

公民館へ帰った子どもたちは、宿題や健康推進員さんと夕食準備



▲もらい湯の後は、ご家族とゆっくり会話をしました

を行い、夜は8軒で「もらい湯」を実施。地域の方が、東桜谷の歴史の話や紙芝居、江州音頭など、地元の伝統を子どもたちに伝えられました。トイレのスリッパが乱れているのを見つけた際、自ら考えポスターを作成するなど、子どもたちはスタッフの見守りの中で、自ら気づき、行動していました。



▲健康推進員さんと一緒に夕飯づくり



▲最後は、子どもたちとスタッフの皆さんが握手でお別れ